

そなえあれば  
うれいなし

# 西淀 防災 Times

Vol. 6 令和3年11月5日発行

12月1日(水)に、教職員向けの防犯訓練を実施します。今から20年前に発生した、大阪教育大学附属池田小学校での殺傷事件は、我々教職員にとっても忘れ難い事件であるといえるでしょう。そこで、今回は研修実施までの期間、不定期ではありますが、『防災 Times』を通して、不審者侵入に対する安全対策について、全教職員に周知させていただきます。

今回の研修は、事前に全体への内容周知は行いません。12月1日(水)16時以降に不審者が校内に侵入し、模擬凶器を振り回したり教室への侵入を試みたり、教職員が児童生徒と自分自身を守るためにどのように対応するかがポイントとなります。

『防災 Times Vol.6』では、【学校内における児童生徒等の安全対策】について、大阪府警察より案内されている内容と大阪教育大学附属池田小学校での殺傷事件について、お知らせさせていただきます。

## はじめに

- ・不審者とは、正当な理由がなく、学校敷地内に入ったり、入ろうとしたりする者のことです。
- ・危害を加える目的で侵入する不審者もいます。教職員が負傷することがないように、複数人で対応することを心掛けましょう

## 不審者への対応【退去を求める】

### 1. 他の教職員に連絡して協力を求める。

- ・不審者を発見すれば、早期に他の教職員と情報共有を行い、不審点があれば110番通報する。
- ・原則、教職員が一人で対応しない。近くにいる他の教職員に協力を求める。
- ・他の教職員が来るまで、不審者を刺激しないよう注意し、適正な距離を保ち自身の安全を確保する。

### 2. 相手(不審者)の態度に注意し、丁寧に退去を要請する。

- ・複数の教職員で対応する場合であっても、不用意に近づかず、相手の動向(手の動き)に注意する。
- ・毅然とした態度で対応し、いかなる場合も不審者に背を向けないようにする。
- ・退去を要請し、子ども等がいる場所に向かわせない。

### 3. 退去に応じない場合の隔離措置

- ・退去に応じない場合、児童生徒等がいる場所からできるだけ遠いところ(部屋)に隔離する。
- ・あらかじめ隔離する部屋を決めておく。扉は一か所、できるだけ頑丈な扉の部屋を選定!
- ・不審者を、先に部屋の奥に案内し、対応者は後から出入口に近い場所に位置する。その際、すぐ避難できるように扉は開放しておく。

### 4. 退去後の動向確認

- ・不審者が学校敷地外に退去した後も、再び侵入しないか動向を確認する。
- ・門や通用口が開いている場合は、必ず閉めて施錠をする。
- ・警察に通報し、パトロールの強化を依頼する。

裏面に続く

## 大阪教育大学附属池田小学校での事件について

2001年(平成13年)6月8日に、大阪府池田市の大阪教育大学附属池田小学校で発生した、無差別殺傷事件(建造物侵入・殺人・殺人未遂・銃刀法違反事件)。

宅間 守(たくま まもる)が校内に侵入し、同校の児童(いずれも1年生・2年生)8人を出刃包丁(刃体の長さ15.8cm)で殺害、15人(児童13人および教職員2人)を負傷させた。

日本の犯罪史上稀に見る無差別大量殺人事件として、社会に衝撃を与えた。

## 事件後の学校側の対応

混乱の中、教員が救急車に乗らず児童に付き添わなかったため、保護者への児童の搬送先病院の連絡が遅れていた。

事件直後、ある死亡児童の保護者は、早い段階で来校したにもかかわらず、学校内で負傷していた児童に会うことも付き添うこともできなかった末、自力で探し回った病院で死亡した我が子と対面することとなった。

さらに事件後、学校からの説明や弔問が遅れただけでなく、教員の心ない表現、発言および行動が遺族の心を大きく傷つけた。

その後、附属池田小学校では、事件を教訓に学校安全の取り組みを積み重ねてきたことが評価され、2014年(平成26年)、日本の小学校では初めて国際的な学校安全認証「インターナショナルセーフスクール(ISS)」を取得した。

## 事件後の学校の危険対策

この事件をきっかけに、学校(小学校など)、幼稚園、保育所などの児童・生徒・幼児が頻繁に利用される教育関連施設にも「警察官立寄所」の看板(プレート)またはシールが貼り付けられたり、学校にも部外者の学校施設内への立ち入りを厳しく規制したり、警備体制を強化するなどの方策を主張したりする声も増えた。

また、防犯ブザーを携帯する児童も増加したほか、保育士や教職員が防犯や心肺蘇生を必ず学ぶきっかけとなった。この事件をきっかけに日本では、幼稚園、保育所や学校はそれまでの「地域に開かれた施設」から安全対策重視の「閉ざされた施設」に方針転換するきっかけとなった。

それまでは地域のコミュニティに重要な役割を果たしていたと言い、校庭などは子供たちの遊び場にもなっていた。

この事件をきっかけに監視カメラを設置したり、原則的に部外者の立ち入りを禁じたりすると言ったこれらの傾向が強まった。一部では常に警備員を配置したり、集団登校時に保護者や地域のボランティアによる見守りも行われたりするようになった。

## 皆さんも考えてみてください

- ★不審者って一体どんな人が不審者なんでしょうか?(服装や特徴など)
- ★本校ならどんな場所から侵入される可能性があるでしょうか?
- ★教職員自身が身の危険を感じた時、児童生徒を守ることが第一なんでしょうか?
- ★もし、防犯訓練までに、不審者侵入事件が本校で起きた時、どうすればよいでしょうか?
- ★『さすまた』や『警杖』などの資機材はどこにあるでしょうか?

参考資料

大阪府防犯教室講習会資料(大阪府警察作成)など

**次回の防災 Times では、本校での防犯対策を中心に、お知らせさせていただきます!**